

指標名	客観性のある定性的な指標なし				
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成28年度 決 算	平成29年度 予 算
事業費		32,569	29,796
特定財源	国庫支出金	7,699	6,115
	都道府県支出金	55	56
	地方債	0	0
	その他	20,391	18,226
一般財源		4,424	5,399
人員数(人)	正規職員	5.6	5.6
	嘱託職員	2.5	2.9
	臨時職員	0.5	0.0
人員コスト	正規職員	40,426.4	40,426.4
	嘱託職員	6,887.5	7,989.5
	臨時職員	571.5	0.0
	計	47,885.4	48,415.9
市民一人当たりの経費		1.5	1.5
総額		80,454.4	78,211.9

(単位：千円)

平成28年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	1,901	証明書発行用偽造防止用紙、トナー等
13節 委託費	7,013	住基システム改修費、住民基本台帳システム業務委託等
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	7,873	通知カード・個人番号カード関連事務交付金等
その他	15,782	戸籍システム機器賃借料等

(単位：千円)

平成29年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	2,050	証明書発行用偽造防止用紙、トナー等
13節 委託費	7,012	住基システム改修費、 住民基本台帳システム業務委託等
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	5,959	通知カード・個人番号カード関連事務交付金等
その他	14,775	機器賃借料等

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	基礎自治体にとって必要不可欠な事務	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	常に事例研究など、全体として取り組んでいく。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	システムの改善などをはかり、効率化に努めている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

住民票等のコンビニ交付、マイナンバーカードの普及など課題はあるが拙速にならないようにしていく。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
基礎自治体にとって必要不可欠な事務。		引き続き、マイナンバー関連の迅速な事務処理と適切な情報管理に努めていく必要がある。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	